

第3章 総務費

第3章 総務費

第1節 総務管理費

1 一般管理費

(1) 人事管理事業

ア 採用及び退職

職員数の適正化を図るため、再任用職員を含めた総職員数にて定員の管理を行いました。

(単位：人)

部局名	平成28年度末 職員数	平成29年4月1日 職員数					平成29年度 中の異動 職員数	平成29年度末 職員数	平成30年4月1日 職員数					平成29年4月 1日との比較	平成30年4月1日 職員数	再任用 職員数	再任用職員 数を 含む 職員数
		採用	転任等	増減計	職員数	増減計			採用	転任等	増減計	職員数	増減計				
市長事務部局	623	26	12	38	661	△33	628	22	683	25	△2	23	651	△10	26	677	
病院職員	414	41	1	42	456	△33	423	3	459	50	2	52	475	19	5	480	
市議会事務局	8	0	0	0	8	0	8	0	8	0	0	0	8	0	0	8	
教育委員会事務局	86	4	△12	△8	78	△6	72	4	82	4	1	5	77	△1	3	80	
選挙管理委員会事務局	3	0	0	0	3	0	3	0	3	1	0	1	4	1	0	4	
監査委員事務局	3	0	1	1	4	0	4	0	4	0	0	0	4	0	0	4	
農業委員会事務局	4	1	△1	0	4	0	4	1	5	0	0	0	4	0	1	5	
水道企業	28	2	△1	1	29	△1	28	1	30	1	△1	0	28	△1	0	28	
消防本部	164	3	0	3	167	△5	162	0	167	5	0	5	167	0	0	167	
合計	1,333	77	0	77	1,410	△78	1,332	31	1,441	86	0	86	1,418	8	35	1,453	

※ 平成29年度中の異動は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に採用及び退職した者並びに異動した者の合計です。

※ 採用は、当該部局に配置された新規採用職員数で、医師及び指導主事の採用職員を含みます。

※ 転任等は、採用及び退職を除く部局間等の異動によるものです。

※ 再任用職員数は、フルタイム勤務職員数（短時間勤務は除く。）です。

イ 職員採用試験

職種	受験者数(人)	採用者数(人)	倍率(倍)	日程
一般事務(大卒)	136	12	11.3	A
一般事務(短大・高校卒)	46	2	23.0	B
司書	7	0	—	A
社会福祉士	4	1	4.0	A
土木技術	16	5	3.2	A
機械技術	6	1	6.0	A
言語聴覚士	1	1	1.0	A
保育士(I)	47	8	5.9	A
保育士(II)	3	1	3.0	A
助産師・看護師	32	28	1.1	4月、8月、11月
薬剤師	1	1	1.0	4月
診療放射線技師	3	1	3.0	11月
視能訓練士	2	1	2.0	4月
作業療法士	7	3	2.3	8月、11月
理学療法士	12	2	6.0	8月
言語聴覚士	3	1	3.0	11月
消防吏員	68	5	13.6	B
合計	394	73	5.4	

(2) 一般職の給料等

ア 平均給料（一般会計の職員）

（平成30年1月1日現在）

区	分	人数（人）	平均給料（円）	平均年齢
一 般 職 員	一 般 行 政 職	703	315,314	42歳 6月
	技 能 労 務 職	17	314,935	49歳 8月
	消 防 職	164	296,365	38歳 5月
合	計	884	311,791	41歳11月

イ 退職手当支給状況（一般会計支出の職員）

区 分	人数(人)	退職時平均給料(円)	平均在職年数	退職手当支給総額(円)	平均支給額(円)
普 通 退 職	6	288,417	15年7月	34,799,416	5,799,903
応 募 認 定 退 職	2	391,250	32年6月	40,954,103	20,477,052
定 年 退 職	36	424,880	37年6月	853,843,152	23,717,865
死 亡 退 職	1	168,600	3年7月	440,046	440,046
合 計	45		33年7月	930,036,717	20,667,483
		内 訳	一 般 会 計 負 担 分	857,459,421	
			水 道 事 業 会 計 負 担 分	36,722,649	
			病 院 事 業 会 計 負 担 分	35,854,647	

※ 企業会計（水道・病院）に在職期間のある職員の退職手当については、その在職期間に応じて、水道事業及び病院事業の各会計で負担します。

(3) 定員見直し目標の実施状況

平成25年2月に策定した定員の見直し目標に基づき、平成24年4月1日現在の病院部門を除く職員数966人を、平成29年4月1日までの5年間で、954人（12人の削減）とすることを目標として定員の見直しを進めました。

この計画に基づき、事務事業の民間委託化及び技能労務職の退職に伴う嘱託員等への切り替えを実施した結果、平成24年4月1日現在の職員数966人に対し、平成29年4月1日現在では954人となり、12人の削減となりました。

また、臨時職員及び嘱託員については、平成24年4月1日現在の575人に対し、平成29年4月1日現在では547人となり、28人の削減となりました。

なお、総人件費の推移は、普通会計における平成24年度の総人件費87億6,119万6,000円に対し、平成29年度では87億1,030万9,000円となりました。

今後は、平成30年2月に策定した第1次富士宮市行政経営プランにおいて、平成29年4月1日現在の全てのフルタイム職員数（病院部門及び配置基準のある職種（保育士、特別支援学級支援員等）を除く。）を基準として職員数の適正化を図ることとしました。

人件費の比較（平成24年度と29年度との比較 普通会計）

（単位：千円）

	正規職員人件費	臨時職員賃金及び嘱託員報酬	委 託 料	総人件費
平成 24 年度	7,531,883	1,125,529	103,784	8,761,196
平成 29 年度	7,238,052	1,108,847	363,410	8,710,309
差 (H29 - H24)	△293,831	△16,682	259,626	△50,887

※ 委託料は、市の全ての事業に係る委託料ではなく、職員数の削減に結びついた業務委託料です。

※ 正規職員人件費には、退職手当を含んでいます。

(4) 職員表彰事業

表彰日 平成29年6月1日

ア 永年勤続表彰

20年勤続 25人

イ 有功表彰 該当なし

(5) 職員研修事業

地方公務員法第39条の規定による勤務能率の発揮及び増進のため、富士宮市職員研修規程及び富士宮市人材育成基本方針に基づき職員研修を実施しました。

職員研修事業（会議研修会等負担金含む。） 13,250,935円

研修の種類	概 要	件数(件)	受講者数(人)
基本研修	(概要) 各職階到達年に受講させる必修のもの (実施状況) 新規採用職員研修(前期・後期・総合案内業務・市議会傍聴受付事務・ゴミ収集現場体験)、初級職員研修、中堅職員研修、上級職員研修、主任研修、係長研修、管理者研修、再任用職員研修、公務員倫理研修、人事評価研修(目標設定・目標設定調整会議・評価者・目標達成度調整会議)	18	988
職場研修	(概要) 所属長等が、所属職員に対して日常の執務を通じて行うもの (実施状況) 各職場で通年実施	1	—
派遣研修	(概要) 職員がその職務を遂行する上で必要な知識、技術等を習得させることを目的に、研修機関等に職員を派遣し受講させるもの (実施状況) 市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研修所(海外研修を含む。)、一般社団法人日本経営協会、静岡県、静岡州市町村振興協会、静岡州市職員研修協議会東部ブロック、富士地区広域行政連絡会、富士市・富士宮市合同研修、公益財団法人21世紀職業財団、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会(洋上研修)、静岡州市職員研修協議会、静岡県防災行政無線運営協議会、静岡県東部明るい選挙推進協議会	94	215
専門研修	(概要) 市行政需要の複雑かつ専門化に対処するため、主としてその職務の専門的な知識、技術等の向上を図ることを目的に実施するもの (実施状況) 保育士リーダー養成研修、保育士スキルアップ講座、不当要求防止責任者研修、建物被害認定研修	4	103
特別研修	(概要) 職員の自己啓発及び職員に必要な知識、技術等を習得させることを目的に実施するもの (実施状況) 通信教育講座、女性職員キャリアアップ研修、臨時職員・嘱託員対象来庁者との良好な関係構築(クレーム予防)研修、気持ちよく働ける職場づくり研修(ハラスメント防止研修)、情報セキュリティ研修、普通救命講習、文書スキル向上研修	7	1,890
その他の研修	(概要) 上記以外の職員の資質向上を図るためのもの (実施状況) メンタルヘルス研修	1	175
	合 計	125	3,371

(6) 職員等健康診断事業

保健衛生事業の一環として健康診断等を実施しました。

ア 健康診断等の実施状況

名 称	内 容	受診対象者	正規職員	臨時職員・嘱託員
定期健康診断	血液学的検査	全 員	◎	○
	生化学的検査		◎	○
	尿 検 査		◎	○
	血 圧 検 査		◎	○
	胸部 X 線 検 査		◎	○
	視 力 検 査		◎	○
	身体計測(身長・体重)		◎	○
	便 潜 血 検 査	35歳以上の者	◎	○
	聴 力 検 査		◎	○
	心 電 図 検 査	35歳以上の者及び血圧高値者	◎	○
	眼 底 検 査	血 圧 高 値 者	◎	○
	腹 囲 測 定	39歳以上の者	◎	○
	医 師 診 察		◎	○
	H C V 抗 体 検 査	39歳の者及び40歳以上の新規採用者	◎	
	肝炎(HBs抗体・抗原)検査	B型肝炎ワクチン接種者	○	
	喀 痰 (肺 癌) 検 査	40歳以上の者	○	
前 立 腺 癌 検 査	50歳以上の者	○		
胃 検 診	胃 部 X 線 検 査	40歳以上の者	◎	○
		40歳未満の者	○	○
婦人科検診	乳 癌 ・ 子 宮 癌 検 査	30歳以上の偶数年齢の者	○	○
特定業務者 健康診断	血液学的検査	当直員及び消防、清掃センター職員で深夜業務に従事する者	◎	◎
	生化学的検査		◎	◎
	尿 検 査		◎	◎
	血 圧 検 査		◎	◎
	医 師 診 察		◎	◎
	身体計測(身長・体重)		◎	◎
	視 力 検 査		◎	◎
腹 囲 測 定	◎	◎		
予 防 接 種	破傷風ワクチン接種	消防、清掃センター等職員で感染予防を要する業務に従事する者	○	○
	B型肝炎ワクチン接種		○	○

※ ◎は必須項目、○は希望による項目です。

イ 定期健康診断受診状況及び受診結果

区 分	受診対象者数 (人) ①	受診者数 (人) ②	受診率 (%)	受診結果内訳 (人)				
				異常なし・ 心配なし	経過観察	要検査・ 要精密検査	要受診	要治療継続
正規職員	1,434	1,325	92.4	246	528	65	303	183
臨時職員・ 嘱託員	-	641	-	82	227	50	141	141

区 分	未受診者数 (人) ①-②	未受診理由内訳 (人)			他受診者を含む 受診者数 (人) ②+③	他受診者を含む 受診率 (%)
		人間ドック等 他受診③	育児、病気等 休暇中	その他		
正規職員	109	81	21	7	1,406	98.0

ウ メンタルヘルス対策

(ア) 職員カウンセリング事業 36件 18人

市内の2病院と契約し、職員の心の健康保持及び増進のため、カウンセリング事業を実施しました。

(イ) 職員ストレスチェック 1,406人

メンタルヘルス対策として全職員を対象に、ストレスチェックを実施しました。職員が自らのストレスの状況を把握し、メンタルヘルス不調を未然に防ぎ、働きやすい職場作りに繋げていきます。

エ 委託

名 称	概 要	金額 (円)	委託先	契約方法
職員定期健康診断 (共済組合負担)	(正規職員) 便潜血、心電図 (35歳未満)、眼底、 HCV抗体、胃部X線検査		静岡県市町村 職員共済組合	
職員定期健康診断 (所属所負担分)	(正規職員) 血液、生化学、尿、血圧、聴力、心電 図 (35歳以上) 検査	7,921,594	静岡県市町村 職員共済組合	随意契約
職員定期健康診断 (追加検査及び 臨時職員等分)	(正規職員)追加検査 胸部X線、B型肝炎、喀痰、前立腺 癌、視力、身体計測 (身長・体重)、 医師診察 (39歳以上)、腹囲 (39歳以 上) (臨時職員等) 血液、生化学、尿、血圧、胸部X線、 視力、身体計測 (身長・体重)、聴 力、心電図、胃部X線検査、医師診察 (39歳以上)、腹囲 (39歳以上)	9,925,189	公益財団法人 静岡県 予防医学協会	随意契約
婦 人 科 検 診	乳癌 (30代超音波検査、40代マンモグ ラフィ2方向、50代マンモグラフィ1方 向)、子宮癌検査	3,100,032	公益財団法人 静岡県 予防医学協会	随意契約
		200,016	共立蒲原総合 病院 組 合	随意契約

成果等

定期健康診断の実施により職員の健康状態を把握するとともに、有所見である職員に対しては、受診勧奨及び産業医や健康相談員による健康相談を行い、職員の健康保持増進を図りました。

また、未受診者については、人間ドック等の受診の勧奨及びその検査結果の提出を求め、要受診者には再検査を依頼し、職員全体の健康管理を行いました。

なお、臨時職員・嘱託員は、年度中に6か月以上の雇用期間があり、かつ勤務日数が週平均2.5日以上ある希望者に対し実施しており、定期健康診断を希望しない者に対しては、人間ドックや地域健診等を受け、健康管理するよう指導しました。

(7) 例規・行政資料管理事業

ア 条例、規則等の公布及び公示状況

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

区 分	条 例	規 則	規 程	告 示	公 告
件 数	26	14	1	198	113

イ 条例、規則等の制定改廃状況

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

区 分	制 定	改 正	廃 止	合 計
条 例	3	22	1	26
規 則	0	14	0	14
規 程	0	1	0	1
合 計	3	37	1	41

(8) 情報公開・個人情報保護制度運用事業

平成29年度の情報公開条例及び個人情報保護条例に基づく開示請求の実績は、次のとおりです。

情 報 公 開 条 例				個 人 情 報 保 護 条 例			
全 部 開 示	部 分 開 示	非 開 示	不 服 申 立 て	全 部 開 示	部 分 開 示	非 開 示	不 服 申 立 て
772	137	2	0	33	3	3	0

(9) バス運行業務委託事業

委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
公用バス運行業務	視察・研修等のバス借上げ 73台	4,217,520	清観光(株)	随 意 契 約 (見積り合わせ)

2 文書広報費

(1) シティプロモーション推進事業

富士宮市の魅力を発信し、移住定住及び観光客の誘客につなげるため、シティプロモーションを推進しました。

市のイメージキャラクターさくやちゃんの活動として、全国各地で行われるまちおこしイベントへ出演並びに啓発品(絆創膏、ウェットティッシュ)の製作及び配布を行いました。

また、市制施行75周年を記念して、富士宮市PR用の富士ひのき製コースターを作製し、市外からの来客に贈呈しました。

広報ふじのみやなどの市の刊行物や公式ウェブサイトにおいては、AR技術(専用アプリケーションソフトをインストールした携帯端末で写真を撮影すると写真が動き出すかのように動画が再生される)のほか、カメラ付き無人航空機(ドローン)を導入して空撮した写真や動画を活用しました。

成果等

富士宮市の魅力アップ及び知名度向上に寄与しました。

(2) 広報ふじのみや発行事業

広報ふじのみや及び広報ふじのみや別冊創宮を発行しました。

広報ふじのみやは毎月1日に発行し、読みやすい紙面となるよう工夫しました。

また、広報ふじのみや別冊創宮を5回発行し、市政の課題や主要な事業の進捗状況などがわかりやすく伝わるよう写真中心の紙面で構成しました。

印刷製本

名 称	規 格	数 量	金 額 (円)	契約の相手方	契約方法
広報ふじのみや (創宮を含む。)	A4判	513,050部(月平均42,754部) 創宮は、8月、9月、12月、2月、3月	11,747,180	北洋印刷(株)	指名競争入札
広報ふじのみや保存版	A4判	2,000部	43,200		
広報ふじのみや総集版	A4判	70冊	124,362		

成果等

市政に関する情報を、幅広く市民にお知らせすることができました。

(3) 広聴事業

ア 市長への手紙

市ホームページに専用フォームを用意し、また、公共施設に専用用紙を備え付け、広く市民から行政に対する意見や要望などを聴きました。

イ 市へのお問い合わせ・ご意見

市ホームページの専用フォーム、電子メールなどにより寄せられる問合せや意見を受け付けました。

成果等

市長への手紙として、52件の意見又は提案がありました。(内訳「電子メール」30件、「専用用紙」12件、「その他(専用用紙以外の封書等)」10件)

市へのお問合せ・ご意見として、273件の問合せなどがあり、速やかな対応ができました。

(4) コミュニティ FM 放送広報事業

富士地区のコミュニティFM放送(富士コミュニティエフエム放送株式会社-ラジオエフ)で、富士宮市の提供番組「富士宮市インフォメーション」を放送しました。市のイベント情報及び生活に役立つ情報を、1回2分、月曜日から金曜日までの平日1日3回(朝・昼・夕)放送しました。このうち金曜日の昼の放送は、市職員が電話で出演する5分間の生放送番組とし、より親しみやすくタイムリーな情報提供を行いました。

また、毎週日曜日には、富士地区の小中学校の児童・生徒が学校の話題等を届ける「みんな集まれ! 学校スクープ」を放送するとともに、毎週金曜日放送の高齢者の福祉・健康等の話題を発信する「ときめき倶楽部」をスポンサーとして後援しました。

委 託

名 称	概 要	金 額 (円)	委 託 先	契約方法
コミュニティFM放送 広 報 業 務	市政情報の発信	3,828,000	富士コミュニティ エフエム放送(株)	随意契約

成果等

市政に関する情報を、幅広く市民にお知らせすることができました。

(5) ホームページ発信事業

ア 市公式ウェブサイトの運用

市公式ウェブサイトにより、富士宮市の情報を発信し、市民の利便の向上及び全国に富士宮市の特色ある施策や観光資源をPRしました。

発信する情報は、各部署でコンテンツ・マネジメント・システム（CMS）により作成及び更新し、サイト全体の管理は情報発信課が行いました。スマートフォン等タブレット端末での閲覧に対応できるように表示を切替える機能のほか、外国語自動翻訳機能により、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語に対応しました。

また、市公式フェイスブックページ及びツイッターページにより、イベント会場から雰囲気が伝わる画像や、職員が撮影した四季折々の富士山の画像を発信しました。

成果等

市公式ウェブサイト全ページへのアクセス数は、377万6,458件で、バナー広告の広告収入は、86万円でした。市の公式フェイスブックには、585件の情報を投稿しました。

イ 富士山ライブカメラ事業

「世界遺産富士山のまち」富士宮市を市内外にPRするため、市役所庁舎7階に設置したライブカメラを保守管理しました。ライブカメラの映像をホームページ上で公開することにより、いつでも富士山の姿を見ることができます。

成果等

アクセス数は、9万9,638件でした。

(6) 防犯灯管理整備事業

防犯灯設置補助及び電気料助成状況

市民生活の安全の確保及び犯罪の無い明るいまちづくりを推進するために、各自治会（区・町内会・班）が行うLED型防犯灯の新設・取替え及び維持管理している防犯灯の電気料に対して、補助金を交付しました。

防犯灯設置費補助について、補助対象をLED型防犯灯に限定し、新設だけでなく、既存蛍光灯型防犯灯のLED型防犯灯への取替えも補助対象としています。

補助金額は1灯につき1万8,000円を限度にし、併せて、専用ポールを建てる場合には、上記金額に加え、1万円を追加補助しました。

種 別	灯 数 (灯)	補 助 金 額 (円)	備 考
防 犯 灯 設 置 補 助	1,425	25,709,000	17,000~28,000円/灯
防 犯 灯 電 気 料 助 成	11,671	11,671,000	1,000円/灯

成果等

電気料等を助成することにより、防犯灯の設置を促進し、地域住民の安全確保及び明るいまちづくりに努めました。また、LED化を進めることで、電気料の削減にもつながりました。

(7) 防犯まちづくり推進事業

ア 防犯まちづくり出前講座の開催

開催日	開催場所	受講対象者	受講人数(人)
平成29年9月17日	福地区区民館	地元高齢者	25
平成29年9月17日	神賀地区区民館	地元高齢者	35

成果等

防犯まちづくり出前講座を計2回実施し、60人が受講しました。講座の内容は、振り込め詐欺被害防止対策、家庭における防犯対策等で、特に被害に遭いやすい高齢者に対して、防犯意識の高揚を図ることができました。

イ 防犯まちづくり推進講座

地域防犯活動の裾野を広げることで、市民による自主的な防犯活動を促進し、地域の安全確保及び防犯意識の高揚を図ることを目的に防犯まちづくり推進講座を開催しました。なお、受講者については各区長から推薦をいただき、31人を受講対象としました。

開催日	開催場所	内容	講師
平成29年10月26日	市役所会議室	開講式 「富士宮警察署管内の身近な犯罪を知ろう」	富士宮警察署生活安全課 課長 杉山慎一
平成29年11月28日	市役所会議室	実技 「地域を歩いてみよう」	防犯まちづくりアドバイザー 白石裕一・船山恵子 富士宮防犯協会 堀水利恵
平成29年12月21日	富士宮市民文化会館 大ホール	講演会 「最近の暴力団情勢と不当要求への対応」	静岡県警察本部刑事部組織犯罪対策局 組織犯罪対策課 課長補佐 榊原 章洋
平成30年1月17日	市役所会議室	活動事例発表 意見交換会 閉講式	外神区防犯委員会 小田切茂行 袖野地域児童・生徒見守りボランティア 篠原弘一 防犯まちづくりアドバイザー 白石裕一・船山恵子 富士宮防犯協会 堀水利恵

成果等

受講者は防犯対策、防犯情報及び警察の活動状況について理解を深めることができました。さらに、地域における防犯活動の事例紹介及び防犯点検を行ったことにより、防犯意識の向上につながりました。

ウ 青色回転灯装着車両による防犯パトロール

防犯まちづくりの一環として、青色回転灯を装着した公用車2台で、週3回の防犯パトロールを実施したことで児童の安全を見守り、市民の防犯意識高揚を図りました。

エ 警察との連携

市内で振り込め詐欺と思われる不審電話が発生した際、警察と連携し、市民に対して振り込め詐欺の被害に遭わないよう、同報無線により呼び掛けました。

3 市民相談費

市民相談事業

(1) 市民相談等

市民の日常生活における悩み事相談、弁護士等の協力による法律的な諸問題の相談等、広範囲にわたる各種相談を実施しました。(単位：件)

名 称	相談件数	相 談 内 容
市 政 相 談	257	都市整備部74、環境部53、保健福祉部52、市民部23、産業振興部22、財政部10、企画部7、水道部6、教育委員会3、総務部0、その他7
一 般 相 談	1,904	相続・贈与481、婚姻・親族346、金銭貸借149、相隣関係128、借地・借家72、労働関係67、不動産売買60、心の悩み45、その他556
弁 護 士 相 談	191	契約関係30、婚姻・親族28、借地・借家26、相続・贈与20、金銭貸借17、相隣関係11、損害賠償11、労働関係6、交通事故4、その他38
司 法 書 士 相 談	39	相続・贈与23、金銭貸借6、登記5、その他5
税 理 士 に よ る 税 務 相 談	50	相続・贈与22、税関係22、不動産売買4、その他2
外 国 人 相 談	7,419	所得証明等申請901、医療・予防接種関係693、学校教育関係507、児童手当等492、市営・県営住宅478、在留資格450、市税・国保税関係395、保育園関係369、国保・社保337、所得税(申告)相談175、その他2,622

(2) 陳 情

陳情を通して寄せられた意見、要望等については、これを市政に反映させるよう努めました。なお、陳情は10件ありました。

4 財政管理費

地方公会計整備促進事業
委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
平成29年度富士宮市財務書類作成等業務	固定資産情報の調査及び財務書類の作成	3,888,000	税理士法人ヤマダ会計	随意契約

成果等

総務省から示された地方公会計における統一的な基準に基づき、発生主義・複式簿記による財務書類を整備し、公表することで財務状況の透明性の確保に努めました。

5 財産管理費

(1) 一般諸経費

建物火災保険に係る保険契約等

ア 建物総合損害共済契約

契約の相手方	加入物件	件数(件)	棟数(棟)	共済責任額(円)	共済基金分担金(円)
公益社団法人全国市有物件災害共済会	市庁舎ほか	283	833	6,055,778,000	6,411,066

イ 自動車損害共済契約

契約の相手方	台 数 (台)	共 済 基 金 分 担 金 (円)
公益社団法人全国市有物件災害共済会	240	3,549,404

ウ 自動車損害賠償責任保険契約

契約の相手方	台 数 (台)	保 険 料 (円)
民間保険会社	11	213,670

(2) 庁舎維持管理事業

ア 委託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
庁舎清掃業務	本庁の清掃	14,385,600	タフカ(株)富士支店	指名競争入札
庁舎当直警備業務	本庁の当直警備	4,976,640	太平ビルサービス(株)静岡支店	指名競争入札
庁舎等機械警備業務	本庁等の機械警備	680,448	総合警備保障(株)ほか	随意契約
庁舎設備管理及び建築物環境衛生管理業務	本庁の電気、空調等の日常運転及びビル管理法に基づく環境衛生管理	21,254,400	(株)静岡セイコー	指名競争入札
庁舎乗用エレベーター保守点検業務	エレベーター5基の保守点検	5,741,280	東芝エレベータ(株)静岡支店	随意契約
庁舎長寿命化工事実施設計業務	本庁舎長寿命化工事の実施設計	18,684,000	富士設計(株)	指名競争入札

イ 工事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額 (円)	受 注 者	契 約 方 法
富士宮市庁舎照明器具LED化工事	LED一体型照明器具(システム天井用ほか) 329台	16,513,200	(株)マコト電機	公募型指名競争入札

成果等

照明をLED化させたことで、消費電力を削減し、温室効果ガス抑制及び地球温暖化対策の推進に寄与することができました。

(3) 庁舎維持管理事業(次年度繰越事業)

平成29年度に実施した次の事業を、平成30年度に繰り越して継続します。

工 事

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
富士宮市役所庁舎長寿命化工事(低層棟工区)	庁舎低層棟屋上の防水及び外壁改修	44,840,000	無双建設(株)	事後審査型制限付き一般競争入札

(4) 公共施設等総合管理事業

市有建築物の長寿命化と中長期的な保全費用の平準化を図るため、対象施設の現地調査を実施し、工事優先度を付けた短期保全計画(平成29年度～平成31年度)を策定しました。

短期保全計画

事業年度		平成29年度(決算)		平成30年度(計画)		平成31年度(計画)	
		金額(円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数
公共建築物長寿命化計画対象事業	工 事	698,688,200	16	1,070,000	16	1,191,946	19
	設計委託	45,133,200	6	35,700	3	42,768	4
市営住宅長寿命化計画対象事業	工 事	76,734,000	5	44,400	3	90,960	5
	設計委託	—	—	—	—	—	—
年度別事業費計		820,555,400	27	1,150,100	22	1,325,674	28

成果等

平成29年度において、公共建築物長寿命化計画対象事業では、16件(事業費698,688,200円)の工事、6件(事業費45,133,200円)の設計委託を実施し、市営住宅長寿命化計画対象事業では、5件(事業費76,734,000円)の工事を実施した結果、劣化の進んだ公共施設の維持保全を図ることができました。

(5) 国・県補助市有林管理事業

ア 合板・製材生産性強化対策事業

委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
市有林青年団林ほか1ヶ所間伐 及び森林作業道開設業務	間伐 A=4.02ha 確定材積 336.676m ³ 森林作業道 延長450m	6,900,120	富士森林組合	指名競争入札

イ 森林環境保全直接支援事業

委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
市有林琴平山ほか2ヶ所 保育間伐業務	保育間伐 A=8.47ha 間伐率 30%	2,052,000	富士森林組合	指名競争入札
市有林琴平山ほか1ヶ所 枝打ち業務	枝打ち面積 7.89ha 地上高 6m 枝打ち幅 2m	5,400,000	富士森林組合	指名競争入札

ウ 市単独自有林管理事業

市単独自業

委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
市有林鞆骨沢ほか2ヶ所 樹皮剥ぎ防止ネット 巻替え業務	A=9.07ha ネット巻替え 8.05ha ネット取外し 1.02ha	2,808,000	富士森林組合	指名競争入札

6 企画費

(1) 市制施行75周年記念事業

市制施行75周年を迎えるに当たり、「元気の源は 地域の元気」をコンセプトに、市民が参加し、楽しんでもらうことで、市政をより身近に感じてもらうこと、さらに郷土に愛着を持ってもらうことを目的に1年間にわたり様々な記念事業を実施しました。

6月1日の市制施行記念日には、オリンピック金メダリストの吉田沙保里さんと栄和人さんを招き、「元気の源～オリンピック金メダルへの挑戦」と題した講演会を開催し、多くの市民に聴講いただきました。

また、広報ふじのみやで振り返る75周年を企画し、過去の広報ふじのみやの記事や写真をパネル展示するなど、市民が市の歩みを懐かしく振り返ることができました。

10月には富士宮中央ライオンズクラブとの共催で、京都清水寺の森清範貫主を招き、講演会を開催しました。市民公募により決定した、これからの富士宮市を表す一文字「輝」を揮毫していただきました。揮毫していただいた書は、市役所1階に常設展示しました。

このほか、富士宮産食材を楽しむ大会、織田信長にゆかりのある市町の首長が一堂に会した織田信長サミット、5年に一度開催している商工フェア、静岡県富士山世界遺産センターオープン記念祭など数多くのイベントを開催し、多くの市民に楽しんで参加いただきました。

成果等

年間を通して、50を超える記念事業を市民や各種団体等と一緒に実施し、市民をはじめとする多くの方に楽しんでいただくことができました。

また、市制施行75周年を契機に、市政を身近に感じ、改めて郷土に愛着を持ってもらうことができました。

(2) 地域間交流事業

北部・芝川地域と街中の商店街が、出張販売などの買い物を通じて人と物の流れを創出し、双方の活性化を図りました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
地域支援サービス出張商店街プロジェクト業務	商店街の商品の出張販売、中心市街地への買い物バスツアーの開催等	5,440,000	企業組合富士宮・食のひらめき会	随意契約

成果等

商店街の商品の出張販売会を16会場で計39回開催し、新たな利便性の提供と人の交流が生まれました。

また、北部及び芝川地域から中心市街地への買い物バスツアーを実施し、商店街との交流をさらに深めるとともに、社会福祉協議会との連携により、地域の見守り活動や健康福祉サービスを行い、地域支援が充実しました。

(3) ふじのみや寄附金事業

ふじのみや寄附金をしていただいた市外在住の方を対象に、返礼品を贈呈しました。

ふじのみや寄附金受納額 4万5,028件 5億9,854万6,473円
(他費目含む合計 4万5,031件 6億1,056万1,473円)

返礼品贈呈等経費合計 2億9,391万8,432円

返礼品数 約250品

成果等

市外在住の方から、多くのふじのみや寄附金を受納するとともに、返礼品の贈呈を通じて、本市の産業や特産品を全国に発信しました。

(4) 首都圏シティセールス推進事業

平成28年度に策定した首都圏シティセールス戦略指針に沿って、事業の展開を図りました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
首都圏シティセールス業務	首都圏在住の20～30歳代の女性に向けた効果的なシティセールスを展開するための小冊子の作成及び配布並びにウェブでの配信	6,199,200	(株)昭文社	随意契約

成果等

「美」をテーマとした小冊子の作成には、市の女性職員の意見を聴きながら、富士宮市の魅力の再発見に取り組みました。作成した小冊子は、首都圏の大型書店3店舗で、20歳代から30歳代の女性客に向けて手渡しで配布しました。また、ウェブ配信では、作成した小冊子のアンケートを実施し、富士山や富士宮やきそば以外でも朝霧高原など癒される場所や浅間大社のパワースポットがあると知ったとの意見があるなど、首都圏のみならず、全国に本市の地域資源の発信が図られました。

さらに、平成29年11月に「B-1グランプリ IN 明石」に出場して、小冊子の配布を行い、本市の認知を高めました。

(5) 移住・定住促進事業

富士宮市への移住希望者が必要とする情報を発信するとともに、移住・定住を促す環境を整備しました。

成果等

市内に2団体ある定住推進団体と協力し、移住者の案内や空家物件の交渉、移住後の相談対応などのサポートにより、稲子地区に1世帯2人、猪之頭地区に2世帯7人の移住が実現しました。

また、首都圏での移住相談会への出展やパンフレット等による移住情報の提供、移住定住ポータルサイトの充実を図ることにより、移住定住奨励金及び移住者首都圏通勤支援助成金を交付し、県外から13世帯42人の移住が実現しました。

移住定住奨励金 9世帯 740万円

移住者首都圏通勤支援助成金 1世帯 10万円

(6) 世界遺産のまちづくり推進事業

世界遺産富士山を核とした世界遺産にふさわしいまちづくりを推進しました。

ア 委託

名 称	概 要	金額(円)	委託先	契約方法
世界遺産のまちづくり整備に伴う参道軸周辺の用地測量・物件調査業務	参道軸創出ゾーンを含む周辺の用地測量・物件調査	6,951,960	富士設計(株)	指名競争入札
富士山本宮浅間大社周辺整備計画策定業務	富士山本宮浅間大社周辺整備計画の策定	4,752,000	(株)設計領域	指名競争入札
富士山世界遺産白糸ノ滝ライトアップ委託業務	白糸ノ滝ライトアップの実施	3,186,000	(株)富士見園	指名競争入札
富士山世界遺産センターオープン記念事業委託業務	世界遺産センターオープン記念祭の実施	4,482,000	ウララフランク	指名競争入札

成果等

富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想の推進に当たり、基本構想策定区域(コアエリア)内の参道軸創出ゾーンを含む周辺の用地測量調査及び物件調査の実施により、参道軸創出ゾーン周辺整備に向けた基礎的な資料を収集することができました。また、富士山本宮浅間大社周辺整備計画策定業務では、参道軸創出ゾーン周辺を対象に、安全で快適な歩行者導線の確保と景観に配慮したにぎわいの空間創出を図るための計画を策定しました。

一般社団法人富士宮青年会議所との共催により国指定の名勝であり天然記念物である白糸ノ滝のライトアップを実施し、約3,000人の集客がありました。また、静岡県富士山世界遺産センターのオープンに合わせた記念行事を開催し、市民と一体となりセンターのオープンをお祝いしました。

イ 工事

名 称	工 種 ・ 概 要	金額(円)	委託先	契約方法
浅間大社西側建物解体工事	建物の解体	13,726,800	(株)丸芳	公募型 指名競争入札

ウ 公有財産購入

内 容	件 数 (件)	面 積 (㎡)	金 額 (円)
公 園 用 地	1	42.59	3,279,430

(7) 世界遺産のまちづくり推進事業（繰越明許分）

参道軸周辺整備に係る土地購入及び補償について、平成28年度分を次のとおり繰り越して実施しました。

ア 公有財産購入

名 称	件 数(件)	面 積(㎡)	金 額(円)
世界遺産のまちづくり整備基本構想に基づく「にぎわい創出ゾーン」における整備用地	1	431.34	36,663,900

イ 補 償

内 容	件 数(件)	金 額(円)
世界遺産のまちづくり整備基本構想に基づく「にぎわい創出ゾーン」における整備に関する物件補償	1	41,267,332

(8) 女性の活躍推進事業

子育て世代などに向けた講座の開催や、身近なコンビニエンスストアを活用した子育て支援施策を実施するとともに、母親が社会とのつながりを持てる環境整備に取り組みました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
母力応援プログラム業務	妊娠期や子育て世代向けの各種講座の開催等・ふじのみやベビーステーション事業の推進	6,000,000	NPO法人母力向上委員会	随意契約
ハハラッチ業務	講座を受けた母親記者が市の魅力を情報発信	2,000,000	NPO法人母力向上委員会	随意契約

成果等

講座やイベントの開催を通して、妊娠・出産・子育てをプラスにするきっかけの場を提供することができました。また累計で市内42店舗のコンビニをふじのみやベビーステーションとして認定登録しました。

ハハラッチ事業は、市公認の15人の記者が母親目線で市の魅力を専用ホームページで発信し、シティセールの役割を担うとともに、子育て中の女性の活躍にも寄与することができました。

7 出張所費

施設維持管理費

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
芝川会館清掃業務	会館の日常・定期清掃	2,548,800	(株)カンザイ	指名競争入札

8 交通安全対策費

自転車駐車場管理事業

市内5か所の自転車等駐車場施設内の清掃・設置物の維持管理及び自転車や原動機付自転車等を整理・整頓することにより、利用者が安全・安心に使用できるようにしました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
自転車駐車場管理事業	施設内の清掃、樹木の剪定、自転車等の整頓、設置物の維持点検等	2,223,169	公益社団法人富士宮市シルバー人材センター	随意契約 (見積り合わせ)

9 生活交通対策費

生活交通確保対策事業

(1) 市営バス運行事業者車両購入費補助金

市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図るため、老朽化等に伴い市営バス車両を購入する市営バス運行事業者に対し、車両購入費の補助を行いました。

概 要	金 額 (円)	交 付 先
バス車両購入費 (2台分) に対する補助金	7,273,000	富士急静岡バス(株)

成果等

低床バス化により乗降性が向上するとともに、座席数を12席から18席に増やし立乗り者を減らすことで、利用者の利便性及び安全性が向上しました。

(2) 地方バス路線維持費補助金

交通弱者（高齢者等）にとって重要な交通手段であるバス路線を維持し、市民の公共交通を確保するため、不採算バス路線を抱えるバス事業者に、補助金を交付しました。

富士急静岡バス株式会社への補助金額 1,306万1,000円（対象路線9系統）

山交タウンコーチ株式会社への補助金額 458万1,000円（対象路線2系統）

成果等

民間バス路線を維持し、富士急静岡バス株式会社の路線で約24万1,000人、山交タウンコーチ株式会社の路線で約1万5,000人の利用があり、地域の生活交通を確保しました。

(3) 市営バス（宮バス）運行業務

市街地周辺の公共施設、医療施設、ショッピングセンター等と周辺住宅地を循環バスで結び、地域の生活交通を確保するとともに、中心市街地の活性化を目的に市営バス（宮バス）を運行しました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
富士宮市市営バス運行業務	市営バスの運行及び市営バス車輛の整備	33,556,200	富士急静岡バス(株)	随意契約

成果等

中央循環は年間359日、5,284便を運行し、利用者は3万7,851人、東南循環は年間299日、1,794便を運行し、利用者は1万2,009人、北循環は年間299日、1,794便を運行し、利用者は1万5,376人でした。また、芝川地域を運行するバスは年間311日、5,598便を運行し、利用者は芝富線5,882人、稲子線2,921人、香葉台線5,694人、稗久保線7,926人であり、学生・高齢者をはじめ多くの市民の生活交通を確保しました。

(4) デマンド型乗合タクシー（宮タク）運行業務

路線バスが廃止された交通空白地域（山宮エリア、山本エリア及び安居山エリア）、路線バスの運行便数が極めて少ない交通不便地域（上野エリア、南部エリア、富士根エリア、北山エリア及び北部エリア）及び市営バスを廃止し、宮タクを代替として導入した地域（内房エリア）における生活交通を確保するため、デマンド型乗合タクシーを運行しました。

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
富士宮市デマンド型 乗合タクシー運行業務	山 宮 エ リ ア	4,055,960	第 一 交 通 (有)	随意契約
	山 本 エ リ ア	1,100,130	岳 南 自 動 車 (株)	
	安 居 山 エ リ ア	469,719	ホ ン ダ タ ク シ ー (株)	
	上 野 エ リ ア	1,983,422	ホ ン ダ タ ク シ ー (株)	
	南 部 エ リ ア	44,240	ホ ン ダ タ ク シ ー (株)	
	富 士 根 エ リ ア	673,665	富 士 宮 交 通 (株)	
	北 山 エ リ ア	2,170,894	(株) 須 走 タ ク シ ー	
	北 部 エ リ ア	669,020	(株) 須 走 タ ク シ ー	
	内 房 エ リ ア	214,770	芝 川 タ ク シ ー (資)	
合 計	11,381,820			

成果等

山宮エリアは1,976台運行し4,040人、山本エリアは1,271台運行し1,999人、安居山エリアは571台運行し868人、上野エリアは907台運行し1,658人、南部エリアは70台運行し87人、富士根エリアは598台運行し857人、北山エリアは1,080台運行し1,658人、北部エリアは268台運行し384人、内房エリアは205台運行し268人の利用があり、交通空白地域等の生活交通を確保しました。

10 市民活動支援費

(1) 富士宮駅前交流センター運営事業

指定管理者による管理

名 称	概 要	金額(円)	指 定 管 理 者
富士宮駅前交流センター運営業務	管 理 運 営	52,983,000	公益財団法人富士宮市振興公社

成果等

指定管理者による事業運営及び管理の下、第二中学校区の地区公民館としての機能充実を図りながら、国際交流活動やNPO等の市民活動の支援を行った結果、会議室などの施設の稼働率は48.8%と高く、高校生議会で高校生から提案のあったフリーラウンジスペースも、多くの学生の利用がありました。また、図書の貸出しは、1日当たり19冊の利用があり、駐車場の利用状況も、1日平均152台と昨年度と同程度の利用がありました。

(2) 大富士交流センター運営事業

指定管理者による管理

名 称	概 要	金額(円)	指 定 管 理 者
大富士交流センター運営業務	管 理 運 営	36,500,000	公益財団法人富士宮市振興公社

成果等

指定管理者による事業運営及び管理の下、大富士中学校区の地区公民館としての機能充実を図りながら、地域の市民活動の場を提供した結果、会議室などの施設の稼働率は47.3%、また蔵書数を充実させた図書室の利用者数は、1日当たり47人で、図書の貸出しは、1日当たり149冊と昨年度を上回る利用がありました。

11 国際交流費

(1) 都市交流事業

ア サンタモニカ市との交流事業

(ア) 交換学生事業

富士宮市の高校生3人(女3人)を派遣するとともに、サンタモニカ市の高校生3人(男2人・女1人)を受け入れました。

派遣期間 平成29年7月22日～8月4日

受入期間 平成29年8月4日～17日

成果等

富士宮市とサンタモニカ市の高校生が、それぞれの家庭でのホームステイを通じて、異文化に触れるとともに、交流を深めることができました。

(イ) サンタモニカ高校受入

姉妹都市であるサンタモニカ市にあるサンタモニカ高校生24人、引率教師3人、総勢27人を受け入れました。

受入期間 平成29年4月7日～8日

成果等

富岳館高校との交流、浅間大社ご祈禱体験、市内家庭でのホームステイ等を通じ、両市民の友好を深めることができました。

イ 栄州市との交流事業

(ア) 友好訪問団派遣(友好交流提携5周年記念)

派遣期間 平成29年5月18日～21日

派遣者 副市長、市議会議員、市民部長、教育部長

成果等

友好交流提携5周年記念として訪問し、両市の友好の歩みと今後の交流の継続を確認しました。

(イ) 産業交流訪問団受入

栄州市副市長、議員、豊基人参農協、天然染色会社等、総勢12人を受け入れました。

受入期間 平成29年5月26日～29日

成果等

商工フェアにおいて栄州市名産の高麗人参と人絹製品のブースを出展し、広く市民に対して栄州市のPRを行いました。

ウ 紹興市との交流事業

友好訪問団派遣(友好交流提携20周年記念)

派遣期間 平成29年11月12日～15日

派遣者 市長、市議会議長、市民部長、産業振興部長、教育部長 等

成果等

友好交流提携20周年記念として訪問し、紹興市との親交を深めることができました。

エ 台南市との交流事業

台南市友好交流協定締結訪問団派遣

派遣期間 平成29年6月23日～25日

派遣者 市長、市議会議員、企画部長、市議会事務局長、富士宮市観光協会理事、ミス富士山

成果等

新たな都市交流への展開と地域の活性化につながる交流を推進するために台湾・台南市と観光、産業、スポーツ、文化等の各分野において交流と協力を行い、両市の発展を促進する友好交流関係樹立に関する協定書を締結しました。

(2) 中学生国際交流事業

ア 栄州市中学生訪問団の受入

栄州市の中学生18人、引率5人、総勢23人を受け入れました。

受入期間 平成29年11月3日～7日

成果等

栄州市中学生訪問団を受け入れ、富士宮市内の中学校での授業参加や文化体験交流を行い、同年代生徒との親交を深めるとともに、日韓両国の歴史、文化を身近に感じ、両市の友好を深めることができました。

イ 世界にはばたく子どもたち育成事業

市内中学生30人をニュージーランド・オークランド近郊に派遣しました。

派遣期間 平成29年7月29日～8月7日

成果等

グローバル人材育成のため、新規事業として実施された本事業では、現地一般市民宅で7泊のホームステイ・現地学校での語学研修等を通じ、異文化理解の精神や国際社会に対応できる積極性を養うことができました。また同時に、研修を通して英語学習への意識向上及び英語コミュニケーション能力の上進に寄与し、研修後には本研修で得られた学習や体験を市内中学生全体が共有できるよう、学校・地域内等に広める機会を作りました。

(3) 市単独運営費補助金

富士宮市国際交流協会に対する補助

国際的な講座やイベントを通しての市民交流事業や多国籍市民への支援事業等の自主事業費、また、紹興市及び栄州市の周年事業に合わせた交流事業費、富士宮国際姉妹都市協会の交換学生事業等民間の国際交流団体への支援事業費等や運営費の一部を補助しました。

交付先 富士宮市国際交流協会

補助金 300万円

12 都市提携費

夫婦都市児童交歓会事業

第49回交歓会は、富士宮市に近江八幡市の児童を招き、朝霧野外活動センターでの宿泊体験、キャンドルファイヤー、レクリエーション、トレッキング、市内見学等の体験を通して、両市児童の親睦を深めました。

期 間 平成29年8月1日～3日

参加児童数 富士宮市 36人 近江八幡市 36人 計 72人

13 男女共同参画推進費

(1) 男女共同参画推進事業

男女が共に個性と能力を十分に発揮できる活力ある社会の構築を目指し、男女共同参画に対する理解を深めるための事業を実施しました。

ア 第3次富士宮市男女共同参画プランの推進

男女共同参画社会の形成について、総合的かつ長期的な視点に立ち、効果的に推進するため、庁内組織である富士宮市男女共同参画推進会議を開催し、プランに掲げた主要施策の進行管理及び推進を図りました。

イ 富士宮男女共同参画フォーラム

男女共同参画について幅広い市民への理解と啓発を目的に、男女共同参画センター利用団体で組織した実行委員会への委託事業として実施しました。

平成30年2月4日、総合福祉会館安藤記念ホールにおいて市民300人の参加のもと「世界がもし100人の村だったら～52人が女性、48人が男性、あなたもここに生きています～」と題した池田香代子さんの講演や男女共同参画センター利用団体による活動発表や男女共同参画啓発朗読劇「雨ニモマケズ」～宮沢賢治と今～」の上演を行いました。

ウ 男女共同参画セミナー

男女共同参画社会の実現に向け「つなげよう 安心して暮らせるふじのみや」というテーマで、アサーティブコミュニケーションや海外における男女の役割などに焦点をあてた講座を6回開催しました。受講者は、571人でした。

エ 審議会等における女性登用促進

平成29年度の女性の審議会及び委員会への登用率については、目標値30パーセントに対し、実績は26.5パーセントでした。

(2) 女性のための相談事業

女性が抱える様々な悩みについて男女共同参画の視点で対応し、傾聴、助言などを行うとともに必要に応じて他の専門相談窓口などの情報を提供しました。

電話相談 122件 面接相談 17件

(3) 社会参画支援事業

出産・育児・介護等により一時休業している女性や自己のスキルアップを図る女性を対象に、仕事に活かすパソコン講座を3講座、24回開催しました。受講者は46人でした。そのうち全講座を託児付きとしました。

14 工事検査費

(1) 工事検査

富士宮市建設工事検査規程に基づき、完成検査、中間検査、部分払検査、材料検査を次のとおり実施しました。

1件130万円以下の検査は、富士宮市建設工事少額工事事務取扱要領により、成績評定点を付けず

に優・良・可の総合評価のみとしています。

ア 1件130万円を超える検査

工事担当課	完 成 検 査			既 済 部 分	中 間	部 分 払	材 料 製 造	材 料	修 補	総 検 査 件 数
	件 数 (件)	完 成 金 額 (円)	平 均 評 定 点							
道 路 課	55	447,152,400	76.81	0	1	0	0	0	0	56
河 川 課	15	73,231,560	77.63	0	0	0	0	0	0	15
都 市 整 備 課	4	92,053,800	77.68	0	0	0	0	0	0	4
都 市 計 画 課	1	5,135,400	73.90	0	0	0	0	0	0	1
住 宅 政 策 課	37	1,531,958,400	78.44	0	13	1	0	3	0	54
花と緑と水の課	7	68,693,400	77.34	0	0	0	0	0	0	7
水 道 工 務 課	35	832,664,880	76.30	0	4	0	0	0	0	39
下 水 道 課	17	281,159,400	76.82	0	3	0	0	0	0	20
富士山世界遺産課	2	23,418,720	75.55	0	0	0	0	0	0	2
資 産 活 用 課	1	24,672,600	75.50	0	0	0	0	0	0	1
建 築 指 導 課	1	91,508,400	66.90	0	1	0	0	0	0	2
合 計	175	3,471,648,960	77.07	0	22	1	0	3	0	201

イ 1件130万円以下の検査

工事担当課	完 成 検 査				
	件数(件)	成 績			完 成 金 額 (円)
		優	良	可	
道 路 課	16	1	14	1	12,151,080
河 川 課	37	0	37	0	36,632,520
都 市 整 備 課	9	0	9	0	6,921,720
花と緑と水の課	5	1	4	0	4,545,720
水 道 工 務 課	9	0	9	0	8,785,476
下 水 道 課	35	0	35	0	34,987,480
富士山世界遺産課	3	0	3	0	3,423,600
合 計	114	2	111	1	107,447,596

(2) 設計審査

工事設計審査及び外部委託に係る設計審査を次のとおり実施しました。

工事担当課	建 設 工 事		委 託	
	件数(件)	審 査 設 計 額 (円)	件数(件)	審 査 設 計 額 (円)
道 路 課	11	214,842,240	13	123,748,560
河 川 課	3	146,328,120	0	0
都 市 整 備 課	0	0	3	33,426,000
住 宅 政 策 課	32	2,066,655,600	13	202,374,160
花と緑と水の課	2	45,408,600	0	0
水 道 工 務 課	22	833,998,680	6	48,135,600
下 水 道 課	11	276,102,000	3	22,863,600
富士山世界遺産課	3	101,548,080	0	0
資 産 活 用 課	2	144,147,600	0	0
建 築 指 導 課	1	130,680,000	0	0
合 計	87	3,959,710,920	38	430,547,920

成果等

通常入札工事において、適正な工事監理の実施を指導するとともに、低入札工事においても監督体制の強化の指導及び査察等を実施した結果、工事の品質確保が図られました。

15 電子計算組織運営費

(1) 電子計算組織運用事業

ア 委託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契約方法
平成 29 年度 入退室管理設備設定業務	電算統計課マシン室の入退室管理機器等の入替作業	2,376,000	セコム(株)	随意契約
平成 28 年度 導入インターネット接続用仮想環境等機器一式保守業務	ネットワーク機器等の保守及び運用支援	3,089,664	(株)富士通エフサス静岡東部支店	随意契約
電子計算機プログラミング業務	共同電算システム等のEUC対応の支援等	8,676,720	(株)データサービスセンター	随意契約
平成28年度導入財務会計システム管理運用業務	財務会計システムの管理支援	2,817,072	富士通(株)静岡支社	随意契約
合 計		16,959,456		

イ 電算機器等の借り上げ状況

名 称 等	金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 方 法
平成 28 年度 導入 出先機関VPN接続用機器一式	2,901,744	NTTファイナンス(株)静岡支店	指名競争入札
平成 28 年度 導入 個人情報利用事務用端末及び2要素認証装置	19,113,408	NTTファイナンス(株)静岡支店	指名競争入札
平成 28 年度 導入 インターネット接続用仮想環境等機器一式	27,730,512	富士通リース(株)静岡支店	指名競争入札
平成27年度導入各課配備パソコン及び一人1台パソコン一式	3,969,000	NECキャピタルソリューション(株)静岡支店	指名競争入札
平成 24 年度 導入 複合機一式	2,497,957	(株)スワベ商会富士支店	随意契約 (見積り合わせ)
平成 29 年度 導入 複合機一式	2,124,330	(株)スワベ商会富士支店	指名競争入札
平成27年度導入インターネット側セキュリティ対策機器一式	2,607,552	NECキャピタルソリューション(株)静岡支店	指名競争入札
平成25年度導入統合OAシステム関連機器(ADサーバ等)	4,845,960	NTTファイナンス(株)静岡支店	指名競争入札
平成 25 年 度 導 入 職 員 一 人 1 台 パ ソ コ ン 一 式	5,105,520	JA三井リース(株)静岡支店	指名競争入札
平成 26 年 度 導 入 職 員 一 人 1 台 パ ソ コ ン 等 一 式 (6 月 分)	8,177,112	富士通リース(株)静岡支店	指名競争入札
平成 26 年 度 導 入 職 員 一 人 1 台 パ ソ コ ン 等 一 式 (11 月 分)	5,554,008	富士通リース(株)静岡支店	指名競争入札
合 計	84,627,103		

ウ 負担金

名 称	概 要	金額 (円)
平成 29 年度 自治体情報セキュリティクラウドの共同利用に係る負担金	県及び県下35市町で共同利用する自治体情報セキュリティクラウドの負担金	6,091,341

(2) 富士市及び富士宮市共同電算化事業

負担金

名 称	概 要	金額(円)
富士市及び富士宮市共同電算化事業負担金(平成29年度分)	富士市及び富士宮市共同電算化事業に関する委託業務(事業期間平成25~31年度)の事業費5,376,270,503円に係る平成29年度富士宮市負担分	331,053,728
富士市及び富士宮市共同電算化事業	社会保障・税番号制度システム改修(厚生労働省分)の富士宮市負担分	9,108,614
富士市及び富士宮市共同電算化事業	マイナンバーカード等の記載事項の充実に係るシステム改修の富士宮市負担分	9,795,830
富士市及び富士宮市共同電算化事業	共同電算システムに係る番号制度対応の富士宮市負担分	7,646,889
富士市及び富士宮市共同電算化事業	社会保障・税番号制度システム保守の富士宮市負担分	6,064,566
富士市及び富士宮市共同電算化事業	介護保険システム法制度対応(平成30年4月制度改正)の富士宮市負担分	8,543,493
富士市及び富士宮市共同電算化事業	介護保険所得指標見直しに伴う法制度改正対応の富士宮市負担分	5,940,174
合 計		378,153,294

成果等

社会保障・税番号制度の情報連携の開始により、一部の届出で住民票や所得証明書等の添付が省略され手続きの簡素化がされた。また、市町村間の照会は、文書でのやり取りから、番号制度情報提供ネットワークシステムでのやり取りに変わり、事務の効率化と迅速化がされた。

(3) 光ファイバ網整備事業

光ファイバ回線によるインターネット接続サービスが提供されていない地域における、施設整備費及び利用促進事業費に対する補助を実施しました。

補助金

名 称	概 要	金額(円)
富士宮市光ファイバ網整備事業費	光ファイバ網の整備事業に対する経費の補助	51,850,000
富士宮市光ファイバ網利用促進支援	光ファイバ網の利用促進事業に対する経費の補助	43,550,000
合 計		95,400,000

成果等

西日本電信電話株式会社柚野局が管轄する地域(上稲子・下稲子・上柚野・下柚野・猫沢・大鹿窪・鳥並)について、光ファイバ回線が整備されました。これにより、この地域のインターネット接続環境が改善し、情報の取得及び発信等の地域格差が是正されました。

16 諸 費

(1) 国・県支出金を伴う事業費補助金

自治会活動の拠点となる区民館等の地区集会所の整備に対しての補助金に加え、区が実施する自治会活動に必要な広場等の用地取得に対して補助金を交付しました。

地域コミュニティ施設整備事業費補助金

種 別	件 数(件)	補 助 金 額 (円)
地 区 集 会 所 修 繕	13	4,167,000
コ ミ ュ ニ テ ィ 広 場 等 取 得	2	6,980,000

(2) 各種補助金

自治会活動の拠点となる区民館等の地区集会所の備品整備に対する補助金を交付しました。

自治総合センターコミュニティ助成金

種 別	件数(件)	補 助 金 額 (円)	備 考
一 般 コ ミ ュ ニ テ ィ 助 成	2	5,000,000	備品整備

第2節 徴 税 費

賦課徴収費

固定資産税等賦課事業

委 託

名 称	概 要	金額(円)	委 託 先	契約方法
地 番 図 分 合 筆 等 加 除 修 正 業 務	土地の分合筆等に伴う異動内容について、地番図(地番現況図)データへの加除修正を行う。	3,724,080	国際航業(株)静岡支店	随意契約
固 定 資 産 路 線 価 設 定 業 務	平成30年度固定資産税(土地)の評価替えに伴い、市街地宅地評価法に基づく各路線への路線価の設定を行う。	18,900,000	(株)パスコ静岡支店	指名競争入札
標 準 宅 地 不 動 産 鑑 定 業 務 (時 点 修 正)	固定資産評価基準第1章第12節二の規定に基づき、評価額に土地価格の下落に伴う修正を加えるため、標準宅地372地点のうち、地価調査地点との重複箇所を除く348地点について平成29年1月1日から平成29年7月1日までの半年間の修正率を求める。	4,134,240	静岡県不動産鑑定協同組合	随意契約
旧 公 図 裏 打 ち 補 修 及 び 電 子 化 業 務	保存状態が悪化している旧公図(巻図・折図)を裏打ち補修した上で電子データ化し、課税資料として整備し、保存環境及び窓口対応の向上を図る。(平成29年度は芝川、白糸各出張所分を実施)	5,523,800	新生マイクロ写真(株)	随意契約

第3節 戸籍住民基本台帳費

戸籍住民基本台帳費

戸籍法、住民基本台帳法等に基づき、迅速で正確な事務処理に努め、市民サービスの向上を図りました。

1 戸籍

(1) 本籍数及び本籍人口数(平成30年3月31日現在)

本 籍 数	本 籍 人 口 数
58,660	142,162人

(2) 戸籍届出事件数(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:件)

事件の種類	総数	届出			他市町村から送付
		本籍人	非本籍人	計	
出生	1,228	672	253	925	303
死亡	1,644	1,250	185	1,435	209
婚姻	1,367	513	74	587	780
離婚	407	249	14	263	144
養子縁組	164	106	6	112	52
養子離縁	63	43	3	46	17
入籍	332	220	5	225	107
転籍	563	349	0	349	214
その他	370	247	23	270	100
合計	6,138	3,649	563	4,212	1,926

2 住民基本台帳

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数(平成30年3月31日現在)

男	女	計	世帯数
65,952人 うち外国人(1,064人)	67,338人 うち外国人(982人)	133,290人 うち外国人(2,046人)	55,877世帯 うち外国人(1,199世帯)

(2) 外国人住民基本台帳記載国籍別人数(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

国名	人数	国名	人数
ブラジル	427	ネパール	47
中国	377	ポリビア	43
ベトナム	347	パキスタン	17
フィリピン	263	タイ	16
ペルー	127	台湾	13
スリランカ	111	米 国	10
韓国又は朝鮮	93	その他26か国	76
インドネシア	79	合計	2,046

(3) 住民基本台帳事務取扱件数(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:件)

転入	転出	転居	世帯変更	出生	死亡	職権修正	戸籍附票処理	その他	計
3,348	3,315	2,652	413	886	1,436	2,445	9,140	96	23,731

3 印鑑登録

(1) 印鑑登録者数(平成30年3月31日現在)

8万9,177人

(2) 印鑑登録件数(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

4,136件

4 証明書交付状況（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

種 別		件数(件)	手数料(円)	種 別		件数(件)	手数料(円)
戸 籍	有 料	22,120	9,954,000	印 鑑 証 明	有 料	42,537	12,761,100
	減免等	2,677			減免等	160	
除籍・改製原戸籍	有 料	12,346	9,259,500	身 分 証 明 書	有 料	1,364	409,200
	減免等	4,226			減免等	0	
戸 籍 証 明	有 料	366	139,650	個 人 番 号 カ ー ド 再 発 行	有 料	19	15,200
	減免等	40			減免等	11	
住 民 票 の 写 し	有 料	61,137	18,341,100	通 知 カ ー ド 再 発 行	有 料	912	456,000
	減免等	4,250			減免等	21	
戸 籍 の 附 票	有 料	2,682	804,600	臨 時 運 行 許 可	有 料	1,198	898,500
	減免等	2,674			減免等	0	
住 民 票 記 載 事 項 証 明 書	有 料	1,206	361,800	そ の 他 の 証 明	有 料	282	84,600
	減免等	75			減免等	133	
住 民 基 本 台 帳 閲 覧	有 料	172	51,600	合 計	有 料	146,341	53,536,850
	減免等	968			減免等	15,235	

5 旅券

旅券申請交付件数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：件）

区 分	申 請	交 付
5 年 用	1,508	1,462
10 年 用	1,597	1,587
訂 正	0	0
変 更	52	52
増 補	5	4
合 計	3,162	3,105

6 個人番号カード

個人番号カード交付件数（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

区 分	平日開庁実施分	日曜・年度末開庁実施分	カード交付のみ休日実施分	計
日数(日)		12	1	
交付枚数(枚)	1,499	168	13	1,680

第4節 選挙費

1 選挙管理委員会費

(1) 選挙人名簿登録者数

区 分	登 録 者 数 (人)		
	男	女	合 計
6月定時登録(平成29年6月1日現在)	54,332	56,622	110,954
9月定時登録(平成29年9月1日現在)	54,182	56,555	110,737
12月定時登録(平成29年12月1日現在)	54,220	56,553	110,773
3月定時登録(平成30年3月1日現在)	54,173	56,437	110,610

(2) 検察審査会(沼津検察審査会)

検察審査員候補者予定者の選定(42人)

(3) 裁判員制度(静岡地方裁判所沼津支部管轄区域)

裁判員候補者予定者の選定(225人)

2 明るい選挙推進費

明るい選挙推進事業

(1) 啓発事業

ア 明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催 応募総数213点

イ 街頭啓発として、富士山御神火まつり市中パレードに参加し、明るい選挙啓発用うちわを配布

ウ 新有権者(18歳)に対するバースデイカードの作成(宛名書き)及び発送

(2) 組織活動

ア 富士宮市明るい選挙推進協議会による啓発活動

イ 静岡県明るい選挙推進協議会及び静岡県東部明るい選挙推進協議会の各種事業への参加

3 選挙費

各種選挙の執行状況

区 分	執行年月日	投 票			開 票	
		有権者(人)	投票者(人)	投票率(%)	有効投票(票)	無効投票(票)
衆議院小選挙区選出議員選挙 ()内は在外選挙人名簿に登録された者の数及び投票率(外書)	平成29年10月22日	110,507 (75)	58,579 (12)	53.01 (16.00)	57,115	1,475
衆議院比例代表選出議員選挙 ()内は在外選挙人名簿に登録された者の数及び投票率(外書)	平成29年10月22日	110,507 (75)	58,573 (11)	53.00 (14.67)	57,257	1,326
最高裁判所 裁判官国民審査	平成29年10月22日	110,507	58,449	52.89	57,348	1,084
静岡県知事選挙	平成29年6月25日	109,512	48,088	43.91	47,306	782
富士根畑そう土地改良 区総代選挙	平成29年12月14日	294	無投票			

第5節 統計調査費

1 統計調査総務費

統計調査員確保対策事業

富士宮市登録統計調査員の資質向上のために研修会を実施しました。

実施日 平成29年11月22日

実施場所 富士宮市役所710会議室

参加人数 26人

2 各種統計調査費

基幹統計調査事業

統計法に基づき基幹統計調査を実施しました。

調 査 名	調査基準日	調査周期	調査客体	調査員数／ 指導員数(人)
学 校 基 本 調 査	5月1日	毎年	54校	—
静 岡 県 人 口 推 計	毎月1日	毎月	—	—
静 岡 県 年 齢 別 人 口 推 計	10月1日	毎年	—	—
工 業 統 計 調 査	6月1日	毎年	611事業所	20/2
就 業 構 造 基 本 調 査	10月1日	5年	429世帯	25/2
住宅・土地統計調査(単位区設定)	2月1日	5年	171調査区	0/16

第6節 監査委員費

監査委員費

1 決算審査

地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、平成28年度各種会計の決算審査を実施しました。

会 計 名	実施月	対 象 課 等	審 査 の 期 間	意見書の提出日
一 般 ・ 特 別 計 会	6	市議会事務局、農業委員会事務局、消防本部 教育部…教育総務課(小・中学校)、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、図書館 水道部…水道業務課、水道工務課	平成29年6月7日 ～平成29年8月29日	平成29年9月7日
	7	総務部…行政課、人事課、契約管理課、工事検査課 企画部…企画戦略課、秘書課、情報発信課、電算統計課、富士山世界遺産課 財政部…資産活用課、収納課、市民税課、資産税課 市民部…市民生活課、市民交流課、市民課、保険年金課、出張所 保健福祉部…福祉企画課、介護障害支援課、福祉総合相談課、子ども未来課(保育園)、健康増進課、療育支援課(あすなろ園) 水道部…下水道課(生活排水処理センター) 危機管理局 会計管理局		
	8	財政部…財政課 産業振興部…農政課、観光課、商工振興課 環境部…環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター 都市整備部…管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築指導課、住宅政策課 選挙管理委員会事務局		
白糸財産区特別会計	7	市民部…白糸出張所	平成29年7月13日 ～平成29年8月29日	平成29年8月29日
上井出財産区特別会計	7	市民部…上井出出張所	平成29年7月13日 ～平成29年8月29日	平成29年8月29日
水道事業会計	6	水道部…水道業務課、水道工務課	平成29年6月7日 ～平成29年8月29日	平成29年9月7日
病院事業会計	6	市立病院	平成29年6月7日 ～平成29年8月29日	平成29年9月7日

2 財政健全化判断比率等審査

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条及び第22条の規定に基づき、健全化判断比率及び資金不足比率の審査を実施しました。

会計名	審査内容	審査結果	実施日
水道事業会計	資金不足比率	資金不足なし	平成29年6月7日
病院事業会計	資金不足比率	資金不足なし	平成29年6月7日
下水道事業特別会計	資金不足比率	資金不足なし	平成29年7月13日
農業集落排水事業特別会計	資金不足比率	資金不足なし	平成29年7月13日
普通会計	健全化判断比率	特に指摘事項なし	平成29年8月3日

3 例月出納検査

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づいて毎月25日から3日以内に期日を定め、一般会計、特別会計（北山財産区、国民健康保健事業、上井出区財産区、猪之頭区財産区、下水道事業、根原区財産区、介護保険事業、後期高齢者医療事業、農業集落排水事業）、白糸財産区特別会計、上井出区特別会計、水道事業会計及び病院事業会計の現金出納及び事業の経営状況について検査しました。

4 定期監査

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、年度当初に監査年間計画を定め、現年度分定期監査を次のとおり実施しました。

実施月	対象課等
9	市議会事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、消防本部
10	教育部…教育総務課（小・中学校）、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、学校給食センター、図書館
11	総務部…行政課、人事課、契約管理課、工事検査課 企画部…企画戦略課、秘書課、情報発信課、電算統計課、富士山世界遺産課 財政部…財政課、資産活用課、収納課、市民税課、資産税課 市民部…市民生活課、市民交流課、市民課、保険年金課、出張所 危機管理局
12	保健福祉部…福祉企画課、介護障害支援課、福祉総合相談課、子ども未来課（保育園）、健康増進課、療育支援課（あすなろ園） 会計管理局
1	産業振興部…農政課、観光課、商工振興課 環境部…環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター 水道部…水道業務課、水道工務課、下水道課（生活排水処理センター） 市立病院
2	都市整備部…管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、建築指導課、住宅政策課

5 財政援助団体等監査

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、市が財政的援助を与えている団体等の監査を実施しました。

指定管理者の名称	施設名	所管部署	監査の期間	監査の概要
(株)ユアーズ静岡	富士宮市富士山天母の湯	産業振興部 観光課	平成29年11月16日～ 平成29年12月20日	平成28年度の財政的援助の団体等のうち指定管理者に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかについて実施

6 貯蔵品実地棚卸し検査の立会い

水道、病院の貯蔵品実地棚卸しに立ち会い、併せて保管状況について調査しました。

7 備品の管理状況調査

庁舎等の施設の備品が適正に管理保管されているか、調査対象課の担当職員立会いのもと、調査を実施し、管理状況を確認しました。

8 市職員が経理を担当している外郭団体等の調査

負担金、補助金等の財政的援助を与えている団体の経理事務を市職員が行い、かつ、会計管理局を経由していないものについて、出納その他の事務執行が適正かつ効率的に行われているかを調査しました。

9 原材料支給現場調査

不特定多数の人が利用する道路、用水路等の整備のため、地元から要望のあった原材料を支給した道路課、河川課、花と緑と水の課、下水道課の支給状況を把握し、支給した数量と施工の状況を確認しました。（原材料支給件数 100件 うち現場調査件数 16件）

10 工事現場調査

定期監査に関連した工事現場の実態を把握するため、担当課の立会いのもとに下記の調査を実施しました。

- (1) 吉美児童クラブ施設建設工事
- (2) 富士宮市民プール長寿命化工事

11 住民監査請求による監査

監 査 対 象 事 項	監査結果
市が購入予定の建物が不当に高いため、市に莫大な損失を与えるという主張により売買契約の執行停止等を求めるもの	却下
市が売買契約を締結した土地・建物について、補償金が土地代に対しての上乗せ行為のため契約解除を求めるもの。また、その契約書の条項に疑義があるため説明を求めるもの	棄却（受理後）